

知性・情操・健康・友愛の調和のとれた発達を目指す

田辺中だより

さらなる高みを目指して ～自主・自立・創造～

京田辺市興戸北鉾立 21 番地 TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

ホームページ URL 【<https://www.kyotanabe.ed.jp/nc3/tanabe-jh/>】

No. 7 令和 7 年 11 月 4 日発行

京田辺市立田辺中学校



「人間力と学力」

研究主任 高野 愛

長かった暑い夏も終わり、ようやく日中も過ごしやすい季節となりました。田辺中学校では、合唱コンクールと体育大会という2大行事が終わり、クラスや学年の絆がより一層深まってきています。縦割りブロックの活動では、3年生のリーダーシップの高さに毎年感心させられます。今年も、伝統ある行事を大切に守り、新たなことにも挑戦し、後輩たちにしっかり繋いでくれたと思います。

さて、今回は研究主任として田辺中がどのような研究をしているのかを少し書かせていただきます。何を研究しているのかと疑問に思われている方もおられるのではないのでしょうか。今年度は、「主体的な学びができる生徒の育成」を目指し、自立できる生徒を育てるには教員である私たちに何ができるのかということを考えています。素敵な大人に成長するためには人間力の成長が必要です。また、進路保障という大きな壁を乗り越えていくためには学力の向上が欠かせません。タイトルにもある、人間力と学力。この2つが学校教育ではとても大事になります。どちらの向上にも欠かれないのが、生徒たちの主体性です。夏休みに教員でおこなった研修会では、「そもそも主体的な学びとはどんなものなのか？」という根本的な部分を、教員で話し合い2学期の教育活動に繋げていこうと取り組みました。その中から3つを紹介します。

①計画的に道筋を立てて学べる生徒

②良い点も悪い点も自己分析ができて、次に繋がられている生徒

③学習課題に対して、自分の言葉で伝えて説明することができる生徒

難しい問題が1問解けることよりも、今の時代にはこのような人間力を携えた学力が求められているように感じます。田辺中が、主体的な学びに関する研究を始めて早3年。最近では、評価の在り方や方法についての議論も世間で繰り広げられています。教員である私たちは、常に普遍的な部分は大事にしながらも、今求められる力や育てたい生徒像を考えていきたいと思っています。

保護者の皆様におかれましては、ぜひお子様たちから学校生活の様子をたくさん聞いてもらい、どんな授業をしているのか、今学校で何に取り組んでいるのかを知っていただきたいと思います。人間力の成長と学力の向上。どちらも大事に育てていけるように、これからも学校教育を進めて参ります。ご理解の程、よろしくお願い致します。

今後の予定

11月 4日 (火)	教育相談月間 (～30日まで) 後期一斉委員会
11月 7日 (金)	小学校 6年生中学校授業体験
11月 8日 (土)	京都府駅伝大会
11月 10日 (月) ～	3年生進路面談
11月 11日 (火) ～	テスト前部活動停止 (～19日まで)
11月 18日 (火)	期末テスト①
11月 19日 (水)	期末テスト②
11月 20日 (木)	小学校 6年生保護者説明会(京田辺中央公民館)
11月 27日 (木)	2年生キャリア教育体験学習
11月 28日 (金)	月末振り返り

体育大会10月17日 (金)



秋晴れの下、「Move Forward～進め！仲間と共に～」をテーマに、日ごろの体育の成果と学年を超えた絆を発表しました。

田辺公園野球場には9色のはちまき姿の生徒の笑顔があふれました！！

体育大会結果

総合の部	優勝 水ブロック (1-1、2-3、3-4) 準優勝 赤ブロック (1-9、2-5、3-3)
大縄跳び	優勝 (1-3、2-3、3-5)
ハリケーン	優勝 黄ブロック (1-7、2-6、3-1)
5人6脚	優勝 水ブロック (1-1、2-3、3-4)
障害物リレー	優勝 黄ブロック (1-7、2-6、3-1)
ブロック対抗選抜リレー	優勝 青ブロック (1-2、2-2、3-5)
創作集団行動	優秀賞 桃ブロック (1-3、2-8、3-6)

今回の大会より、生徒会種目として、部活動対抗リレーが実施されました。



山城地方中学校体育大会駅伝競走の部10月11日

駅伝の部【女子】5位 ⇒11月8日(土)京都府駅伝大会出場。【男子】惜しくも入賞ならず
区間新記録(4区) 2位 岸本愛理

全国学力学習状況調査の結果より（4月17日木、国・数・理・質問紙 3年生実施）

国語については、全体の平均正答率は京都府、全国と同程度でした。「知識及び技能」の領域では、京都府、全国よりも上回っているが、「思考力、判断力、表現力等」の領域では、若干下回る結果となりました。特に「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかを見る」という問題については、正答率が低い結果となりました。

数学については、正答率の高い生徒とそうでない生徒の二極化がみられる傾向があり、全体の平均正答率としては、京都府、全国と比較して下回る結果となりました。「関数」の問題については、上回っている結果となりましたが、「図形」分野での正答率に差が大きく開く結果となり、記述式の問いについては、無回答の問題も多かったです。

今年度実施された理科についても、全体の平均正答率としては、京都府、全国と比較して下回る結果となりました。出題分野による正答率の差がみられ、特に「化学分野」における正答率の低さが目立つ結果となりました。

田辺中学校では、今年度「主体的な学びができる生徒の育成」をテーマに、授業改善や行事の工夫を重ねてきています。生徒一人ひとりが自分で目標を立て、月末にはその達成度を振り返る時間を設けるなど、主体性を育む取り組みを進めています。また、総合的な学習の時間（SELF）では、課題解決型の学習を通して、仲間と協力しながら考えを深める活動も行っています。

こうした取り組みの成果として、多くの生徒が「自分で学び方を工夫できている」（田辺中：81.7%、京都府：76.0%、全国：77.5%）、「友達と協力して課題に取り組んでいる」（田辺中：93.7%、京都府：92.0%、全国：91.9%）と感じていることが学習状況調査の結果からも分かりました。これは全国や京都府の平均と比べても高い水準です。

一方で、「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は田辺中で 65.6%、京都府で 65.3%、全国で 67.5%と、全国平均とほぼ同じですが、約 3 割の生徒が目標設定に課題を感じている現状も見えてきました。また、「学校に行くのは楽しいと思う」と答えた生徒は田辺中で 83.2%、京都府で 85.8%、全国で 86.1%と、やや全国・府平均を下回っています。家庭学習の習慣や ICT 機器の活用についても、田辺中では「ICT 機器で情報を整理できる」と答えた生徒が 74.1%、京都府が 66.4%、全国が 63.3%と、田辺中は全国・府平均より高いものの、約 4 分の 1 の生徒が苦手意識を持っていることが分かります。

今後は、こうした課題に対して、個々の生徒に寄り添った支援や、学級活動のさらなる工夫、ICT 活用の研修などを通じて、すべての生徒がより主体的に学び、協働的に成長できる環境づくりを目指していきます。田辺中学校の取り組みは、全国や京都府の現状と比較しても高い成果を上げている部分が多くありますが、さらに一人ひとりの生徒が自分らしく成長できるよう、今後も教育活動の充実を図ってまいりたいと思います。